

大子町と連携した「水郡線駅舎アートコンペティション」入選者作品決定！ アート作品で駅舎を彩ります

JR東日本水戸支社と大子町は、2021年3月27日に全線で運転を再開した水郡線の利用促進を柱に、大子町の地域活性化や交流人口の拡大を目的として、「地域活性化連携協定」を締結しています。この取り組みを更に推進するために、エイベックス・ビジネス・ディベロップメント(株)と運営のもと、水郡線の駅舎を舞台にしたアートコンペティションを実施しました。順次、入選者作品を常陸大子駅、袋田駅、上小川駅に展示し、駅舎に彩りを添えます。

1 趣旨

- (1) 内 容 駅舎を媒体にしたアート作品（装飾、映像、音響等）の展示・設置
- (2) 実施箇所 大子町内 水郡線主要3駅（常陸大子駅、袋田駅、上小川駅）
- (3) スケジュール 2021年2月10日～3月5日 応募期間
2021年3月30日 入選作品結果発表
2021年7月上旬 順次作品の展示・設置開始

2 水郡線駅舎アートコンペティション入選プラン

対象駅	作品コンセプト【入選者名】	審査会総評
常陸大子駅	大子町の自然、積み重なる太古の地層など、それらの豊かな色彩をイメージさせる装飾を駅舎内の天井に設置する。 【照山 麻衣】	大子町特産の大子那須楮を原料に製造される和紙を用いた作品。駅を訪れる者に大子の雄大な自然を想起させてくれるにちがいない。
袋田駅	電車にまつわる日常の風景が更新され、ワクワクと感じられる風景（待合場所、芝居舞台等）を設置する。 【湯ノ迫 史】	演劇の舞台として“もうひとつ”の待合所を制作するプランである。日常のなかに鏡像のように現れる舞台に鑑賞者はどんな感情をもつのかを期待したい。
上小川駅	フィールド・レコーディングを行い大子町の象徴的な音を探す。それを生かした「音の作品」を駅空間で響かせる。 【橋本 次郎】	フィールド・レコーディングという手法により大子の自然、歴史、文化、風土を音として浮かび上がらせようとする点がおもしろい。

装飾設置イメージ（常陸大子駅）



装飾サンプル（常陸大子駅）



3 本イベントの位置づけ

JR東日本水戸支社と大子町は、「地域活性化連携協定」に基づく事業計画を定めております。本イベントは、その一環として、水郡線駅舎を媒体としたアート作品の展示・設置を行います。